

10/22
早稲田

まず高浜31日から

原発5キロ圏の7953人に

ヨウ素剤配布

県は二十一日、関西電力高浜原発（高浜町）から放射性物質が飛散する事故の発生に備え、甲状腺被ばくを防ぐ「安定ヨウ素剤」の住民配布を二十一日から、同町で始めると発表した。同原発から、おおむね五キロ圏の三歳以上の町民七千九百五十三人（三千百十六世帯）が対象。十二月十七日まで計十三回、配布の機会を設ける。安定ヨウ素剤の事前配布は県内で初めて。

（西尾述志）

東京電力福島第一原発事一ら、原発から五キロ圏の住民故で、備蓄したヨウ素剤を事前配布することになった活用できなかった教訓か。高浜3、4号機は、再

■高浜町での安定ヨウ素剤の事前配布日程

日	配布場所
10月31日(金)	旧音海小中学校校体育館
11月4日(火)	旧日引小学校校体育館
5日(水)	内浦公民館
11日(火)	
12日(水)	青郷小学校校体育館
18日(火)	
19日(水)	
12月2日(火)	
3日(水)	高浜小学校校体育館
9日(火)	
10日(水)	
16日(火)	中央体育館
17日(水)	

※時間はいずれも午後7～8時半。関西電力高浜原発から、おおむね5キロ圏の3歳以上の町民7953人が対象

稼働に向けた新規規制基準の適合審査で九州電力川内原発（鹿児島県）に次ぐ二番手に位置し、最終局面を迎えつつある。配布は高浜町と共同で行

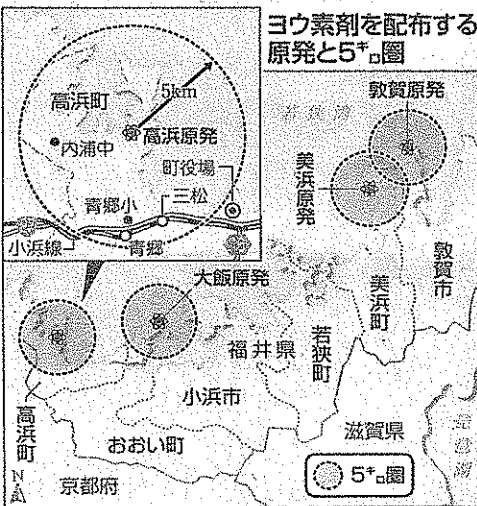
安定ヨウ素剤 医師の処方箋が必要。要な医薬品の丸剤。原発事故時に放出される「放射性ヨウ素」による内部被ばくを防ぐ。事前に飲む必要があり、効果は24時間。嘔吐（おうと）や下痢、頭痛などの副作用がでることもある。有効期限は製造後3年。これまでに九州電力川内原発、四国電力伊方原発（愛媛県）、九電玄海原発（佐賀県）の5キロ圏の住民に事前配布が行われている。

甲状腺被ばくを防ぐ「安定ヨウ素剤」。県と高浜町は容器に入れて配る予定。県庁で



う。旧音海小中学校校体育館を皮切りに、旧日引小、青郷小、高浜小の各体育館、内浦公民館、中央体育館の六カ所、計十三回にわたって配る。時間はいずれも

ヨウ素剤を配布する原発と5キロ圏



午後七～八時半。対象者はどの会場に出向いてもよく、家族の代理出席もできる。会場では、まず医師が安定ヨウ素剤の効能や服用方

した人には配らない。三歳未満は、一丸でも適量を超えるため配布の対象外。事故時は優先的に避難させ、避難所などで薬剤師が調製した液状のヨウ素剤を服用してもらう方針。関西電力の大飯、美浜両原発と日本原子力発電敦賀原発の5キロ圏となるおおい町、小浜市、美浜町、敦賀市の住民計約二千二百人への配布日程も現在、調整を進めている。